

当面の需給見通しについて

はじめに

当社は、今夏の電力安定供給に向け、供給力の確保に取り組んでまいりましたが、7月16日に発生した新潟県中越沖地震により、柏崎刈羽原子力発電所の2, 3, 4, 7号機が自動停止し、定期検査中の1, 5, 6号機とあわせて、現在のところ、今夏の運転再開の見込みがたたない状況となっております。

このような状況の中、今夏の電力安定供給を図るため、これまで供給力の確保を進めてまいりましたので、需給見通しと今後の対策についてご説明させていただきます。

1. 需給状況と見通し

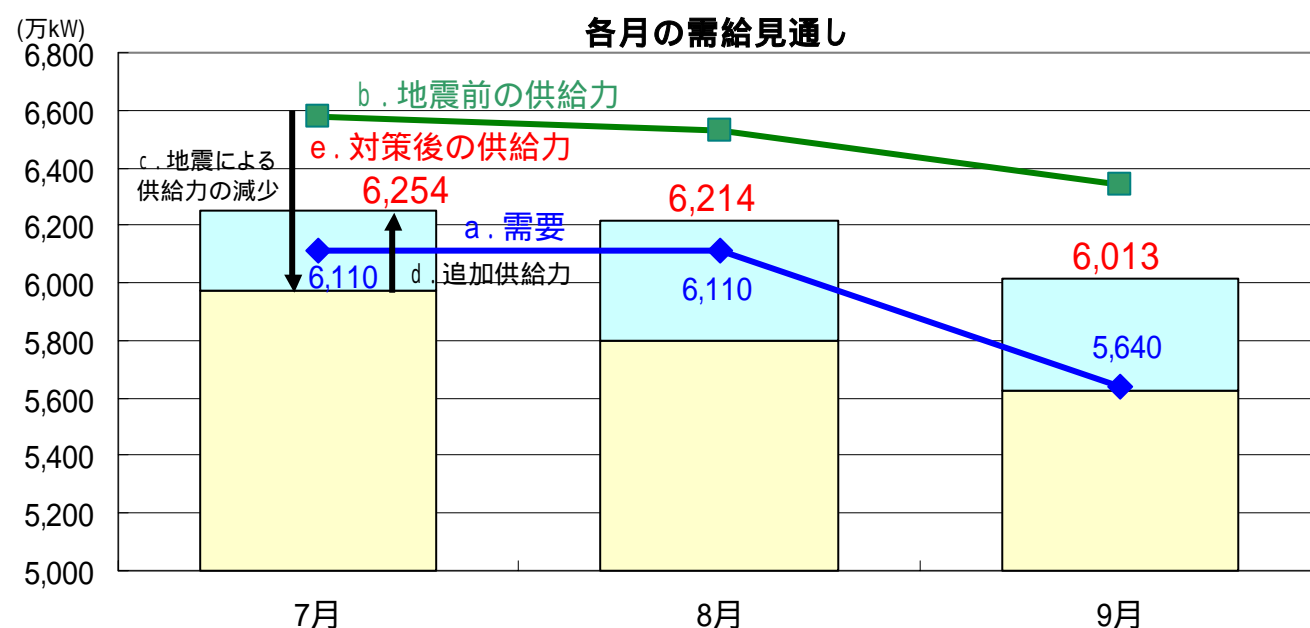
今夏の最大電力は6,110万kWと予想されます。これに対して、新潟県中越沖地震により柏崎刈羽原子力発電所が停止したものの、供給力確保に努めた結果、供給力は6,214万kWとなり、安定供給は維持できる見通しです。

<各月の需給見通し>

(通常の暑さの場合：過去10年間の最大電力発生日における最高気温の平均を想定)

	7月	8月	9月
a. 需要	6,110	6,110	5,640
b. 供給力(地震前)	6,576	6,527	6,342
c. 地震の影響	606	726	714
d. 追加供給対策	284	413	385
e. 対策後の供給力	6,254	6,214	6,013
対策後の予備力	144	104	373

(注) 需要は各月の最大需要想定値、供給力は各月の平均値を表記



2. 供給力および需要面の対策

<追加的な供給力>

対策	7月	8月	9月
発電所の増出力運転等	78	208	180
他電力からの応援融通受電	135	135	135
自家発の余剰購入	71	70	70
合計	284	413	385

(注) 福島第一原子力発電所3, 6号機の定期検査工程については、関係各所と調整中

<需要面の対応>

対策	7月	8月	9月
計画調整契約 ^(注)	130	130	130
随時調整契約(推定)	108	108	108

(注) 計画調整契約は最大電力見通しの中に織り込み済み

3. 今後の安定供給の確保に向けた取り組み

平年並みの気温の場合、供給力は確保できる見通しですが、猛暑となり気温が著しく上昇した場合には、供給力が不足するおそれがあります。そのような事態を回避し、安定供給を確保するため、以下の取り組みを実施してまいります。

- これまでの供給力確保のための対策を確実に実施するとともに、更なる追加対策を引き続き検討してまいります。
- 夏のピーク対策以降につきましても、引き続き安定供給の確保に努めてまいります。
- お客さまに節電のお願いをさせていただくとともに、需給調整契約の拡大など、猛暑となり需要が著しく増加した場合などの緊急時における需要の削減に努めてまいります。

以上

<参考：供給力面の対応(地震前の対策)>

渇水などのリスクに備え、長期計画停止火力を2機(44万kW)を再開。

- ・五井火力2号 (26.5万kW) H19年7月11日 再開
- ・常磐共同火力 勿来6号(17.5万kW) H19年7月2日 再開